

製品名: サバイビンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21501**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:16kD;Observed MW:16kD

抗原情報

遺伝子名	BIRC5
別名	BIRC5;API4;IAP4;Baculoviral IAP repeat-containing protein 5;Apoptosis inhibitor 4;Apoptosis inhibitor survivin
遺伝子 ID	332.0
SwissProt ID	O15392
免疫原	ヒトサービビンの合成ペプチド

背景

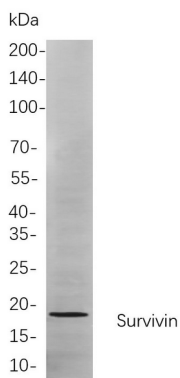
細胞局在: 核。この遺伝子は、アポトーシス阻害因子 (IAP) 遺伝子ファミリーの一員であり、アポトーシスによる細胞死を阻害する

負の調節タンパク質をコードする。IAPファミリーのメンバーは通常、バキュロウイルス IAP リピート (BIR) ドメインを複数含むが、この遺伝子は単一の BIR ドメインのみを持つタンパク質をコードする。また、コードされるタンパク質は C 末端の RING フィンガードドメインを欠いている。遺伝子発現は胎児期およびほとんどの腫瘍において高いが、成体組織では低い。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見ついている。[RefSeq 提供、2011 年 6 月]

研究分野

-

画像データ



Survivin Rabbit mAb を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。